令和 5 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| 事業所番号 | 1590500102 | | |
|---------|--------------------|------------|--|
| 法人名 | 株式会社スワロー | | |
| 事業所名 | ももの木かしわざきグループホーム和奏 | | |
| 所在地 | 柏崎市元城町1-46-2 | | |
| 自己評価作成日 | 令和6年1月10日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action.kouhyou.detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=1590500102-00&PrefCd=15&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

| 評価機関名 | 公益社団法人新潟県介護福祉士会 |
|-------|------------------|
| 所在地 | 新潟県新潟市中央区上所2-2-2 |
| 訪問調査日 | 令和6年2月27日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念でもある入居者様の個人を尊重し身体機能に合わせ、今できている事を維持しながら認知症があっても穏やかに役割を持ち笑顔で過ごして頂けるよう個別ケア、健康管理に重点を置き毎日を過ごしています。入居者様の受診には看護師より担当ドクターへ生活状況を連携シートで共有を行い指示をもらっています。医療との連携を図っています。コロナウイルスも5類に移行になり外部からボランティア訪問を開始しました。また、高校の福祉実習の受け入れを再開し入居者様と関わりを持って頂いています。感染予防に関して居住空間の消毒、職員は体調不良時は、無理せず休むを前提とし出勤したら検温、手指消毒、手洗いの徹底を行い職員がウイルスを持ち込まいよう予防に努めています。入居者様の面会についても感染状況をみながらですが、現在は居室での面会を行っています。施設の入居者様と一緒に畑作業を行い春にはじゃが芋を植え収穫をしました。夏はきゅうり、ピーマン、トマトの夏野菜を収穫、秋は菊のかきのもとを摘みそれぞれ旬の食材を食事に提供し季節を感じてもらっています。 地域交流も盛んに行っています。地域の納涼祭のお誘いやお祭りの神輿が施設まで来たり楽しく交流をさせてもらっています。また、防災に関しても町内会長、消防団の立ち会のもと訓練を行っています。地域の防災訓練に職員も参加しています。入居者様が、住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう地域に根ざし信頼される事業所として頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

〇利用者支援とボランティア活動

「グループホーム和奏」は開設して12年目を迎えている。事業所リビングの窓からは山々の季節の移り変わりを眺めることができる。一緒に暮らす仲間として、猫の存在も大きく、利用者、職員のセラピストとして活躍している。その縁で、事業所は保護猫活動にも参加しており、今まで自宅で猫と暮らしていた方が暮らせなくなり、保護施設に預け里親探しのお手伝いも行っている。今年度はコロナウイルス5類に移行となり、感染予防を行い外部からボランティア訪問の再開と高校生の福祉実習の受け入れを再開した。防災に関しても地域の消防団、町内会長と連携し防災訓練を通して、地域全体で防災意識を高めている。少しずつ感染症前の生活に戻れるように取り組んでいる。

〇一人一人に寄り添ったケアの実践

グループホーム和奏の理念「1.個人を尊重します」「2.面白いことを考えます」「3.健全な経営に努めます」を掲げ、日々のケアに取り組んでいる。個人を尊重し身体機能に合わせて、今できていることを維持しながら、日々の関わりの中で利用者のやりたいことを聞き実践している。最後まで自分の足を使うことを目標に、毎日の散歩や雨の日は事業所内で体操や下肢運動を行い、一人一人が役割をもって何か面白いことを考えながら生活が豊かになるように支援している。

○働きやすい職場作りに向けた取り組み

職員の能力に合わせた研修情報や勉強会でスキルアップを目指している。また、毎月「虐待の芽チェックリスト」を行い、職員はケアの振り返り、言葉使いなどをチェックしている。職場の雰囲気も良く、言葉使いなど、その場で注意しあえる関係性が築けており、風通しが良く、働きやすい職場環境目指して取り組んでいる。